



① 姉川書店

猫に関する書籍、グッズを取り揃える「姉川書店」。元は文庫本や雑誌を取り扱っていたが、2013年から猫本に特化したお店づくりに。絵本や漫画をはじめとして、幅広いジャンルの猫本を700点前後取り揃えている。本の内容がわかるよう、表紙が見えるように置くのがこだわり。全国の猫好きから熱い支持を受けており、1回訪れるとお店のファンになって何度も足を運ぶ人が多いそう。店主の姉川さんの温かい人柄もお店の魅力だ。

03-3263-5755
千代田区神田神保町2-2



② 山田書店 美術部

浮世絵から現代版画まで幅広く取り扱う「山田書店 美術部」。店名には「書店」とついているが、どちらかというと画廊、もしくは美術館のような空間が特徴的。店内にはガラスケースと引き出しが並んでおり、引き出しの中には客自身が閲覧することができるシステム。店舗は2階だが、上がるまでの階段脇には展示ケースが設置されており、目を見張る珍しい品が並ぶ。作品に限らず、画集や展覧会カタログといった美術関連書籍も取り扱っている。

03-3295-0252
千代田区神田神保町1-8 山田ビル2階



③ 五拾画廊

靖国通り沿いの山田ビル5階にある五拾画廊。店名の由来は、歌川広重の『東海道五十三次』から。取扱は肉筆浮世絵、浮世絵、春画、版画、美術全般だが、特に肉筆浮世絵と春画が得意だ。画廊内は暖かい光と木の香りに包まれており、柔らかく穏やかな空間が印象的。落ち着いた雰囲気の中、暖かい光と木の香りに包まれており、柔らかく穏やかな空間が印象的。落ち着いた雰囲気の中、暖かい光と木の香りに包まれており、柔らかく穏やかな空間が印象的。

03-5577-3985
千代田区神田神保町1-8山田ビル5F



④ 鳥海書房

動植物に関する古書を扱う「鳥海書房」の書棚は、古生物、昆虫、釣り、野草など分類は40種以上。「海」の棚を見ていると「釣り」に誘われ、「鳥」を見ているうちに「昆虫」「植物」と次々に好奇心の深みにはまる。和本から最新刊まで、学術書も趣味本もそろえる。「多色刷木版の花や、1枚ずつ手で彩色された19世紀の銅版画の花や動物など、費やされた膨大な手間を想像すると、美しさと同時に情熱を感じて、時を忘れて見入ってしまう。うちに通い詰めた海藻好きの小学生が自然科学の研究者になったときは本当にうれしかった」(店主)

03-3264-4450
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター3F



⑤ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品ぞろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治~現代の初版本や限定本、直筆書簡類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛で、目録は一刻も早く見たいから会社に通って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



⑥ ボヘミアンズギルド

「ボヘミアンズ・ギルド」は、大正9年に池袋に開業した夏目書房の支店で、平成16年に神保町に出店。店名の由来の通り、「慣習にとらわれない自由奔放な芸術家たちの作品」を集める。1階は洋書や写真集、美術書が中心。2階は絵画や稀覯本、自筆物などが並ぶ。特に竹久夢二のオリジナルは100点以上。商品はすべて手にとって見るができる。「古本屋にこんなものがあるのかと驚かれるようなものを置きたいんです。柱は「心地よくて楽しい」。書店はアミューズメント要素がないとネット注文で完結してしまう」(店主)

03-3294-3300
千代田区神田神保町1-1 木下ビル1F・2F



⑦ 文房堂

明治20年(1887)創業、日本で初めて油絵具を製造・発売した「文房堂」は、現在流通する画材全般の基礎を作ったことで知られる。旧本社ビルは神田一帯が焼け野原となる関東大震災にも耐えた。その装飾性あふれる正面外壁(幾何学模様の外装、ロマネスク風の4連アーチ窓、素焼き陶器製の花飾りなど)を保存しつつ背面を特殊工法で建て替えた本社建物は、平成15年「千代田区景観まちづくり重要物件」に指定された。画材をはじめ、アート系ポストカードなど誰でも楽しめる文具・雑貨が充実。アートスクールやギャラリー運営も行う。

03-3291-3441
千代田区神田神保町1-21-1



⑧ ギャラリーかわまつ

あ、ゴミ袋……と思うが、実は「だまし絵」。「ギャラリーかわまつ」は、アーティストがビル外壁に油性スプレーで描いた不思議な壁画が目印。昭和50年(1975)開業、平成17年より神保町に移転。ピカソ、ミロなど巨匠をはじめとするヨーロッパの作家の版画、挿画本から日本の現代作家によるシルクスクリーン、グラフィティアートまで19世紀以降の新旧交えた良質の作品を、版画を中心に取扱う。価格は1000円台〜。版画はオリジナルでも一般に絵画より安価、手に入れやすいのが魅力だ。企画展を年4〜5回開催。

03-3265-3030
千代田区神田神保町2-12-1



⑨ 原書房 版画部

浮世絵に関することなら「原書房 版画部」へ。浮世絵、新版画、複製版画など、お手頃な作品から一級品まで幅広く取り揃えており、浮世絵に関する書籍の品揃えも業界随一。国内外のコレクター、美術館関係者からも厚い信頼を受けている。店内はギャラリーとなっており、壁のいたるところに北斎、広重、豊国のものなど、江戸期の浮世絵の代表的な作品や大正、昭和期の新版画などが展示され、まるで美術館のような雰囲気だ。

03-5212-7801
千代田区神田神保町2-3 原書房2F



⑩ 玉英堂書店

「玉英堂書店」は希少で優れた貴重な「稀覯本(きこうほん)」の専門店。明治35年(1902)に本郷湯島天神下で古本兼貸本業として開業し、大正15年、神田神保町に移転。そして「オリジナルだけが持ちうる筆跡、装丁、紙質により作家が生きた時代に近づきたい」(店主)との思いで昭和55年、2階に稀覯本と自筆物の「特選ルーム」を開設。室町後期の源氏物語絵巻、良寛の書、司馬遼太郎の肉筆原稿など、文学史・美術史で知る名前がひしめく、密度の濃い光景だ。観覧自由。目録は年3〜4回発行。

03-3294-8044
千代田区神田神保町1-1



⑪ 書泉グランデ

戦後まもない昭和23年(1948)の創業以来、「常に業界の第一線を歩む近代的書店」を自負する「書泉グランデ」。現在、各店舗で常備する新刊書籍・雑誌等の総数は280万冊以上。目指すのは、「読みたい本がすぐ手に入る」理想の書店という。作家のサイン会、フェアなどの企画催事も随時開催。1〜7階まである中で、6階のフロアには、特に鉄道関連書籍や関連商品が並び、特に充実している。また、7階のイベントスペース「SHOSEN+」では、各種イベントを開催。イベント開催時以外は無料でスペースの貸出も行っている。

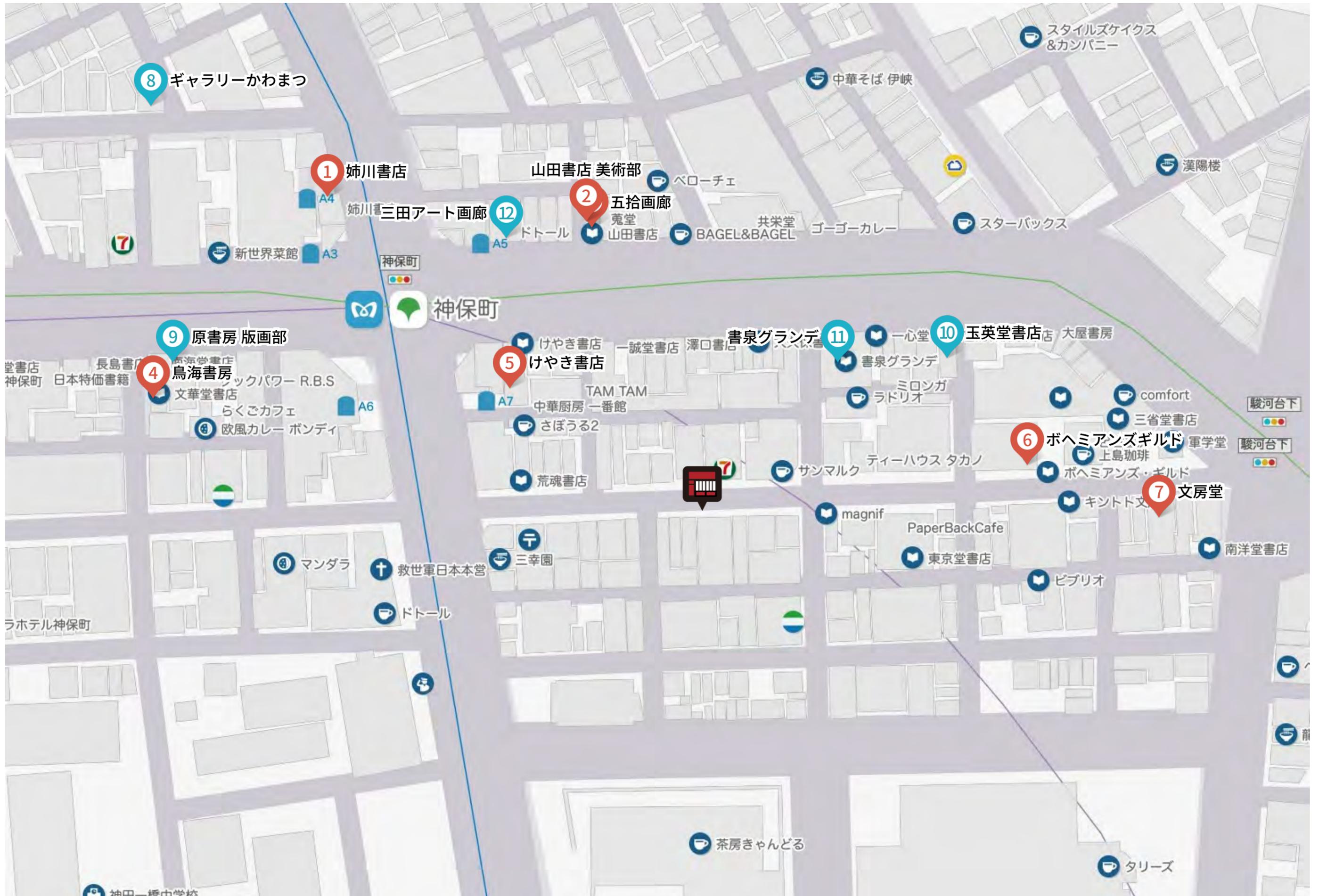
03-3295-0011
千代田区神田神保町1-3-2



⑫ 三田アート画廊

昭和38年(1963年)に浮世絵収集家であるデビッド・キャプラン氏が三田で創業した浮世絵専門店の「三田アート画廊」。現在は、創立者の息子であるケン・キャプラン氏が二代目として営業中。三田アート画廊は、日本で唯一、浮世絵を専門にしている外国人オーナーのお店。直接海外のオークションに出向き、落札してきた浮世絵が並ぶ店内では、国内外からの江戸時代の貴重なオリジナル文化財を手にとってみる事ができる。

03-3294-4554
千代田区神田神保町1-10 IVYビル4F



8 ギャラリーかわまつ

1 姉川書店

山田書店 美術部

2 五拾画廊
菟堂
山田書店

9 原書房 版画部

4 鳥海書房

5 けやき書店

11 書泉グランデ

10 玉英堂書店 大屋書房

6 ボヘミアンズギルド

7 文房堂

タリーズ